

2018年

10月号

福岡県連協活動報告

福岡県学童保育連絡協議会

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園2丁目4-22
TEL093-662-6000・FAX093-662-6006
E-mail gakuhoren@fukuoka-gkd.jp
発行・福岡県学童保育連絡協議会



福岡県学童保育連絡協議会（以下、福岡県連協）に加盟して下さっておられるクラブ・個人・賛助会員の皆様、働きながらの子育てを頑張っておられる保護者の皆様、そして支援員の皆様、皆様が共に協力し合い、日頃よりご尽力してくださっていることに感謝し、合わせて県連協へのご理解ご協力ありがとうございます。

夏休み中の酷暑は9月になっても引き続き…西日本豪雨災害…台風は次から次へとやってきて20、21、24、25号による災害…北海道地震…日本中いたるところで未曾有の災害が起きてしまい、災害に遭われた方々にはお見舞い申し上げます。

福岡県議会より「意見書」が採択 され国に向け提出されました！！

学童保育の国の基準参酌化の動きにおいて全国で取り組みました“請願書”は国会で提案されず審議未了となってしまいました。全国で200万筆超え、福岡県内5000筆を超えて皆様に署名して頂いたにも関わらずとても残念です。

が、地方自治法第99条により地方議会より意見書を提出してもらう方法があるということから、今回、福岡県議会議員に働きかけ、この9月議会で採択され、「放課後児童クラブの質の確保を求める意見書」として国に向けて提出されました。

市町村議会からも意見書は提出が可能です。是非、皆様の市町村議会に働きかけ、学童保育の質の向上と従うべき基準の堅持に対する意見書を提出してもらいましょう。

第 37 回福岡県学童保育研究集会

<2019.2月24日(日)>

<会場：宗像ユリックス>に向けて始動

- ★ 第 37 回研究集会第 1 回実行委員会：9 月 2 日（日）大野城まどかぴあ 304 会議室
第 1 回実行委員会では、研究集会の目的と意義を確認し、実行委員会役員体制（案）の提案・承認と、今年度の研究集会メインテーマ、講師選定を考えるにあたり、それぞれが置かれている状況の中で今もっとも学びたいことは何か、意見交換をおこないました。

《第 37 回研究集会実行委員会役員体制》

- 実行委員長・・・藤廣（県連協役員）
- 副実行委員長・・・松本（県連協役員）
- 事務局長・・・森元（県連協事務局長）
- 事務局・会計・・・木下（県連協事務局次長）



- ネット（SNS）依存、ゲーム依存の子どもたちが増えている。ネット依存、ゲーム依存に関する内容で話せる人がいないか？
- 育成支援するとはどういうことか？ 資格を得、放課後児童支援員が配置されているにも関わらず、子どもの最善の利益に基づいた育成支援をしているとは思えない。トラブル相談は減らない。
- 従うべき基準が緩和されたり、行政が民間委託や指定管理している状態の中で、本来の学童保育のあり方とは？ 子どもの放課後とは？を考えないといけないのではないかと？ 大人は今考えないといけないときなのでは？
- 保護者会運営の時と事業所運営となる中での違い…
- お弁当がごはんのみ、誰かにかまってもらいたいと願い、いろんなことをする気になる子…

実行委員の様々な意見を基に、今年度の記念講演講師を決定いたしました。

- 記念講演講師：石原 剛志 氏（^{いしはら つよし}静岡大学教授 教育学部一発達教育学専攻）

◎日本の学童ほいく誌に特集・講座の連載を掲載されています。

・ 2016年12月号特集「子どもの権利としての学童保育を求めて」

・ 2017年10月号～2018年2月号5回連載講座

「学童保育を求め、つくってきた人々 学童保育の歴史から学ぶ」

・ 2018年10月号特集 学童保育の運営—現状と課題「学童保育の『運営』を考えるために

- 第 2 回実行委員会：10 月 7 日（日）10：00～16：00

会場：クローバープラザ 506 研修室 A

出前研修開催

<支援員部会>

【日田市(9/7)・筑後市(9/21～5回) ・大刀洗町(9/28～5回)】

出前研修は『学童保育の質の向上に対し、学童保育で働く全ての支援員に学んでいただく』ことを目的として市町村に働きかけているものです。9月から始まった出前研修は今年で9年目を迎えます。今回は県を超えて大分県日田市から始めました。日田市は<2：倫理と権利>。筑後市、大刀洗町は下記に示した中の基礎講座を5回行います。皆様の地域でも是非！という場合は市町村に相談してください。

		テーマ		学習内容
基礎講座	1	学童保育支援員の 仕事と役割	①	・支援員の仕事と役割 ・支援員に求められる仕事の基本
			②	・毎日の仕事と実務 ・一日の生活の流れと見通し
	2	倫理と権利		・子ども ・保護者 ・支援員 ①全員 ②縦組織
	3	安全管理 衛生管理 リスクマネジメント		・安全管理 ・衛生管理 ・リスクマネジメント
実践講座	4	子ども理解と支援の 実際		・子どもを理解する視点 ・子ども理解と支援の実際 ・子ども理解の為に記録の大切さ ・事例の分析と実践検討
	5	生活づくりの実際		・学童保育の生活づくりとは？ ・生活づくりの実際 ・創ろう！子ども達にとって“理想の生活”

6	学童保育の遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・“遊び”とは？ ・現代の遊びを取り巻く環境と遊びの意義
7	保護者向け研修	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育の制度や施策の理解 ・学童保育と保護者会 ・運営指針を学ぶ

あそび研究会

<あそび研究会>

～必殺あそび人みっけみっけみっけ～

第1回(5/13) 「あそび」とは？

皿回し・ディアボロ（中国コマ）・独楽などあそんでリラックスした後に「今こそ、あそびの力を信じて」（アフタフ・バーバン編著）の文献を使って「あそび」を考えました。

第2回(6/10) 「誘導戦隊アメダマン」「あそびの中で育んでいること」

第43回全国指導員学校九州会場の記念講演の席を詰めて座ってもらうため、「誘導戦隊アメダマン」が誕生しました！また、公園であそびを実際にやってみて「あそびの中で育んでいること」を考えました。

第3回(9/17) あそびまくる

「つっこみかるた」「新聞紙」を使ってあそびました。つっこみかるたと新聞紙ジャンケン（じゃんけんに負けると新聞紙を半分に折っていき新聞紙から落ちると負け）のラボあそびも生まれました。そして季節外れのスイカ割りもしましたよ～。

**こうやって「あそび」ながら「あそび」を楽しむ
ゆる～い研究会です。興味のある方は連絡までご連絡を！**



第1回役員会 (9/2)

第1回運営委員会 (9/23) 開催

総会が終わり第1回目の役員会、及び運営委員会を開催しました。総会で可決された今年度の活動方針の具体化を検討し合い、各部会の担当割を行いました。

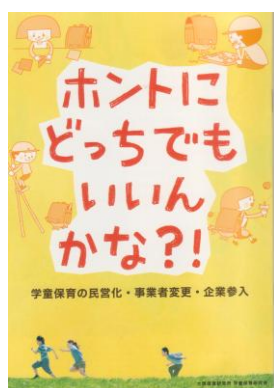
運営委員会では、各地域情報交流を主に行い、そこから見えてくる課題と県連協の活動方針と併せての確認を行いました。そして、運営委員会では、各地域ブロック交流に向けての中身の検討を行いました。どのブロックも来年の1月ごろをめどにそれぞれで進めていく予定です。

運営主体のあり方を考える <自治体協働部会>

民間営利企業の学童保育事業への参入問題を考える

今、全国の学童保育クラブの運営主体が大きく変わりつつあります。ある企業は、株主総会で「今後の事業の柱として学童保育事業を」として株主に宣言しています。学童保育事業が儲かるとの認識であると考えざるを得ません。福岡県でも、自治体の学童保育担当職員から様々な情報が寄せられますが、営業マンが自治体を訪問し、いわゆる営業活動をしていることが伝えられています。

こうした中で、いくつかの自治体ではこれまで保護者会運営だった学童クラブが指定管理や公募によって運営主体が入れ替わることが進められています。その際、国の制度が大きく変わり、子ども子育て支援制度として学童保育事業の拡充が進められています。その最も重要な視点は、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省）」を基本理念として、学童保育が運営されることであり、放課後の子どもたちの豊かな成長・発達を支えることが求められています。



◆ホントにどっちでもいいのかな?!
学童保育の民営化・事業者変更・企業参入

発行：大阪保育研究所 学童保育制度研究会

地域紹介：北九州市連絡協議会

第38回学童保育クラブまつり

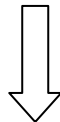
＜今年も約600名が集まり、あそびのポイントゲームや学童クイズ、バザーをします。＞

「学童保育クラブまつり」は学童保育の特徴を生かし色々な遊びを通じて、子ども保護者の交流を深めることを目的に取り組みます。
一般の方は午前中のゲームは見学、昼からのバザーは参加できます。参加をお待ちしています。

- *日時：2018年11月3日（土・祭）10：00～15：00（雨天中止）
- *会場：響灘緑地 グリーンパーク
- *内容：午前 ポイントゲーム
午後 バザー（子どもの手作り作品もあります）

研修変更のお知らせ

◎2018年度 放課後児童支援員 新人基礎研修
2018年9月30日・大野城まどかぴあ



変更

◎2018年度 放課後児童支援員 新人研修

- ◆ 日時：2018年11月25日（日）10：00～16：00
- ◆ 会場：クローバープラザ